

科目名	エフェクティブ・スピーキング				
担当者氏名	山田 正人				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・春期

《授業の概要》

スピーキングを促すための毎回の授業のルーティーンを確立して、繰り返して身に付ける方法と、正しい英文を書く力を身につけ、学んで定着した表現でプレゼンテーションをすることを目指します。

《テキスト》

英語でコミュニケーションをするための基礎的なプリントを作成します。

《参考図書》

参考書、文献などは、講義の中で紹介します。

《授業の到達目標》

自分の言いたいことを何とか伝える事ができる。そのために、スピーチ、ポスタープレゼンテーション、ディベートなどの様々な形で、授業の間は英語を常に使うようにする。

《授業時間外学習》

授業で英語を使うことができるような表現は、覚えなければなりません。授業中に準備するのではなく、授業時間外で英語を作成し、授業では「発話する」ような授業時間がでの準備を必要とします。

《成績評価の方法》

《備考》

授業中の英語使用の頻度、英語を使おうとする姿勢、準備物や成果物などで、評価します。テストは行いません。授業風景をビデオカメラで撮影することもあります。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	授業の概要について	15回の授業を通した「授業の参加の仕方」について説明します。毎回するルーティーンの活動を説明し、作っていきます。
2	トーキング・マッチ (Talking Match)	与えられた、英問英答のプリントを完成し、ペアワークもしくはグループで発話練習し、時間内でより多くの英問英答をすることを競います。
3	ショウ&テル (Show & Tell)	写真や絵を店ながら、テーマに沿った内容を英語で発表します。聞いている人も質問を英語でします。
4	ポスタープレゼン (Poster Presentation)	「環境」「人権」などのテーマで、自分の主張したいことを模造紙に描きます。それについて多くの人の前で発表します。
5	ポスタープレゼン (Poster Presentation)	原稿を見ずに発表できるようにし、自分の発表だけでなく、仲間の発表内容について質疑できるようにします。
6	スリーヒントゲーム (Three hints game)	チームに分かれて競います。与えられた絵について英語で説明します。聞いている仲間は説明する人の与えるヒントで正解を言います。
7	スリーヒントゲーム (Three hints game)	形式が理解出来たら、ルーティーンにしていきます。他のパリエーションで、英語でヒントを与え、正解を答えます。
8	プロ&コン (Pros & Cons)	より簡単なテーマで、ディベートをします。
9	プロ&コン (Pros & Cons)	ペアで実施する。グループで実施する。
10	1分間スピーチ (One minute speech)	与えられたもの、状況で、英語を発話し続けます。できるようになれば、ルーティーン化します。
11	絵本の要約 (Summary of a picture book)	絵本の内容を英語で説明します。サマリーで使う英単語を開示し、あらすじを説明し、その絵本のテーマを言います。
12	絵本の要約 (Summary of a picture book)	形式が浸透すれば、ルーティーン化します
13	英字新聞解説	時事ネタを英語で説明します。
14	インタビュー (Interview Test)	ペアを作り、各ペアで5分間英語を話し続けます。5分交代で次の新しいペアで繰り返し、90分間英語を話し続けます。
15	インタビュー (Interview Test)	外国人ゲスト、留学生を招待し、英語でコミュニケーションをとることもあります。